

## 子供たちの憧れに

10月は、たくさんの方々と交流をした月でした。

まず、マンダリンパイレーツの選手や愛媛 FC の選手が本校を訪れ、運動を通して子供たちと交流しました。

マンダリンパイレーツの公式ホームページには、このような3つの理念が掲げられています。「NPB を目指す選手の研鑽と育成、夢づくり・感動づくり・人づくり、新しいスポーツ文化の創造と地域社会への貢献」。選手の夢を叶えると同時に、地域社会の活性化を目指していることが分かります。



愛媛 FC は、クラブフィロソフィーの1番目に「愛媛から紡ぐ 『糸を紡ぐように』 子どもたちの夢・可能性を 愛媛の文化やクラブの歴史・哲学を 人々の出会い・想いを育み、つないでいきたい。永遠に切れない『絆』を紡いで次の世代へ。希望を握りしめて愛媛から『世界』へ。」と掲げています。サッカーを通して、子供たちや地域に元気を贈ろうという思いが伝わります。

また、よんでんアーティスト派遣事業の一環として、3人のプロの音楽家の方々が本校を訪れ、ピアノ、フルート、オーボエの素敵なアンサンブルを演奏してくださいました。ドレスで入場した姿を見た子供たちの「おー」という歓声と、演奏する3人を見つめるきらきらした瞳は忘れられません。それぞれの楽器の特徴を分かりやすく説明していただいたおかげで、子供たちにとってクラシック音楽が身近になったように思います。

3組の方々に共通しているのは、自分が好きなことを続けていること、そして、好きなことを通して子供たちに夢を与えていることです。子供たちにとって「自分も、あんなふうになりたい」という憧れはとても大切です。

子供たちの近くで成長を見守る大人として、子供たちが、それぞれの憧れに近づけるように応援したいと思います。

